

第4回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について

平成15年10月7日
原子力委員会

我が国と地理的・経済的に密接な関係のある近隣アジア地域が、原子力に関する地域協力について意見交換・情報交換を行うため、平成12年（2000年）から会合を開催している。

沖縄県は、半径約1500kmに東京、マニラ、香港などアジアの主要都市が位置する「アジアの中心」である。

また、沖縄県は、特産の果物へのミバエの被害に対し、ミバエのさなぎにガンマ線を照射する、不妊虫放飼法によってミバエの根絶に成功した。これはわが国の放射線の農業利用における大きな成果である。

このような「アジアの中心」であり、放射線利用の実績を持つ沖縄県で、「放射線・アイソトープ利用の社会、経済的効果の増大」及び「持続可能な発展と原子力エネルギー」をテーマとして、アジア地域の原子力に関する意見交換を行う大臣級会合を開催する。

1. 主催

原子力委員会

2. 開催時期

平成15年12月2日（火）～3日（水）

3. 開催場所

万国津梁館（沖縄県名護市）

4. 参加国

オーストラリア、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、日本

<参考>

第1回大臣級会合：平成12年11月タイにおいて開催

テーマ「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」

第2回大臣級会合：平成13年11月東京において開催

テーマ「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」

第3回大臣級会合：昨年10月韓国にて開催

テーマ「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」

プログラム(案)

平成 15 年 12 月 2 日 (火): 上級行政官会合

平成 15 年 12 月 3 日 (水): 大臣級会合

【午前セッション】

9:00 - 9:20 開会挨拶等

9:30 - 10:45 円卓討議

「放射線・アイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」(75 分)

10:45 - 10:55 休憩

10:55 - 12:10 「持続可能な発展と原子力エネルギー」(75 分)

12:10 - 12:40 記者会見

12:40 - 14:10 昼食

【午後セッション】

14:10 - 14:30 IAEA からの招待講演

14:30 - 14:50 FNCA 活動の進展と SOM からの報告

14:50 - 15:00 休憩

15:00 - 15:40 カントリーレポートの発表 (40 分)
(各国発表約 10 分 × 4 カ国)

15:40 - 15:50 休憩

15:50 - 16:40 カントリーレポートの発表 (50 分)
(各国発表約 10 分 × 5 カ国)

16:40 - 17:00 休憩

17:00 - 17:30 議長サマリー
閉会挨拶